

Kure 恋こい 18

Nursing

第58回 卒業生



第58回 卒業生のみなさんへ

皆さんが入学する、わずか1ヵ月前に、広島県で最初の新型コロナウイルス感染が報告されました。以来、人と人とのかわりや移動が制限され、コミュニケーションという点では、大変難しい3年間となりました。それでも、少しずつ、制限が緩和され、十分ではなかったですが、学校行事が行えるようになってきました。新型コロナウイルスは2類相当から5類へ引き下げられることが決まり、マスクなしの生活も間近となっています。

Learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow. The important thing is not to stop questioning. (昨日から学び、今日のために生きて、明日に希望を持て。大切なのは、疑問を持つのをやめないことだ。)とアインシュタインは述べています。これから新しい世界に入る皆さんは、先輩や自分自身の経験から学び、今を一生懸命生きて、将来に向けて希望を持つようにならなければいけません。そして、最も重要なことは、いつも疑問を持って自分で考えることです。

看護師には、「強い体力と精神力」、「学び続ける姿勢と向上心」、「コミュニケーション能力」が求められます。相手の話を「正しく理解する力」と相手に「正しく伝える力」や、患者のちょっとした変化にも気づくことができる「観察力」と患者の気持ちをイメージする「想像力」が必要です。常に「自ら考えて行動していく姿勢」を維持してください。

「もし気持ちが落ち込んでいるならば、あなたは過去に生きているのです。もし不安でいるならば、あなたは未来に生きているのです。もし安らかな気持ちでいるならば、あなたは今に生きているのです。」と老子は述べています。これから、いろいろなことを経験すると思いますが、毎日の一つ一つの積み重ねが大切です。

一人一人の患者が違った状況で、さまざまな悩みを抱え苦しんでいます。患者の一番近くにいる、かかわる時間が長い看護師であるからこそ気づくことがたくさんあります。医療の技術も大切ですが、「思いやりと優しさ」をもって「明るく」看護することが、患者にとって大きな救いになります。日々の業務は忙しくて大変ですが、患者と共有する時間を大切にしてください。

よい看護の実践には、「自分自身が健康である」ことが必要です。仕事では、日々、緊張感やストレスにさらされるので、仕事以外の時間にリフレッシュすることも大切です。日ごろから、オンとオフを上手に切り替えてストレスを発散して下さい。みなさんが心身ともに健康で、立派な看護師として活躍されることを願っています。

1年生

60回生 寺尾 穂花

期待と不安を胸に入学した当時、私達1年生は分からないことばかりで、戸惑うことが多々ありました。特に寮生活では沢山の規則や役割があり、なかなか慣れることができませんでした。そのような私達に先輩方は優しく丁寧に教えて下さった上に、一緒に行動し生活についてだけでなく、プライベートなことについても沢山話すようになりました。こんなに仲良くなれたのはいつでも明るくフレンドリーな先輩方のお陰です。

実習では、病院での実習だけでなく、新たに地域の方と触れ合い、地域の方の生活や活動を体験することができ、病気と共に生活していく人の生活を知ることができました。大変な実習を乗り越えられた先輩方は私達1年生の目指す存在です。いつでも諦めず頑張っ

てこられた先輩方のように、私達も看護師になる夢に向かって努力していきます。



60回生入学式



地域・在宅看護論実習Ⅰ

3年生

58回生 中野 栞那

3年次では各論実習が主体となり、臨地での実習を通して学ぶことができました。実習が終了し、習の中で仲間や先生方の力を借りながらやり遂げることができました。実習が終了し、本格的に国家試験の勉強が始まり、時には投げ出したくなる時もありましたが、先生方や仲間に支えられみんなで看護師になるという目標をもち国家試験に臨むことができました。試験本番ではこれまで勉強してきたことや先生方からの言葉を思い出し、全力を出せました。

私たちの学年は入学時から新型コロナウイルスの影響を受けてきましたが、その中で

の講義や実習を通して看護に必要な知識、技術を学びました。この学年で出会えた仲間や先生方との思い出を胸にこれからも頑張っていきたいと思います。

2年生

59回生 新田 夏美

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は続きました。一方で、学生と学校関係者のみの参加となりましたが、学校祭を開催しました。規模の縮小はありましたが、「We can do everything~ 私たちにはなんでもできる~」をテーマに各学年でブースを企画・運営しました。3学年合同で、応援団の演舞やコンサートを行い大いに盛り上がり、学校全体で一体となり成功させることができました。2年生は初めての学校祭で不安で一杯でしたが、先輩方が支えてくださいました。

ご卒業おめでとうございます。皆様がそれぞれ進まれる場での活躍を心からお祈りいたします。



学校祭（開会式）



オープンスクール



学校祭（ステージ発表）



看護師国家試験出陣式



卒業式後謝恩会



3A病棟

仲田 美優 56回生



私は3A病棟に所属しています。こちらの病棟では、人工呼吸器を付けている重症患者の看護から回復期における患者の看護・急変時の対応など、様々な看護を提供しています。

私は病棟看護のみですが、救急外来や透析患者の看護・心臓カテーテル治療などについて、看護を実践しています。日々の看護実践の中で、わからないこと・不安なことが多くありますが、個人のペースに合わせて相談に乗ってもらったり、先輩方がフォローして下さり、安全で的確な看護ができるよう指導して頂けます。実際の看護の場面では、病態や症状は、患者個々様々で、回復の経過を辿る患者の看護に携われた時に「ありがとう」と声を掛けてもらえた時は特にやりがいを感じています。お看取りの場面では、その人の最期の看護という特別な看護に加え、家族看護の大切さについても、実践を通して学ぶことができます。

これからも様々な患者の看護に携わり、自分の看護観をより明確に看護ができるようになりたいと思います。

皆さんも、これから様々な場所で自分の思い描く看護師として活躍されることを願っています。

4B病棟

門見 真佳 57回生



私は当校を卒業し、呉医療センター4B病棟で勤務しています。4B病棟は小児科・NICU・内分泌・糖尿病内科・リウマチ科がある混合病棟で、新生児から成人までの幅広い年代の看護を経験できます。小児においては機嫌が良い時ばかりではなく「怖い。注射嫌だ。」と言って看護師を見るだけで泣いてしまう患児もいます。そのためバイタルサインの変動が生じてしまわないよう外的刺激を最小限にし、患児に負担をかけないように実施するよう心掛けています。また両親の健康面にも配慮しながら不安な事や悩みを吐露しやすい雰囲気作りを心掛けています。配属された当初は覚えることが多く不安や悩み事ばかりでした。

10月より呉医療センターではPNSが導入され、2人1組のペアとなり看護を提供しており、分からないことなどは先輩に教えて頂きながら少しずつではありますが知識をつけることが出来ていると感じます。限られた時間の中で、患者の年齢や疾患に応じた看護を行うことに難しさを感じ悩む事も多くありますが、先輩方に助言を頂きながら日々頑張っています。コロナ禍で思うように臨床実習ができず不安が大きいかと思いますが、今までに得た知識を存分に活かし先輩方や同期を頼り、励まし合いながら頑張ってください。

編集後記

卒業生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。呉看護学校では、様々な感染対策を講じながら、入学式、卒業式に保護者の方にご出席していただき、挙行することができました。また、オープンスクールの対面での開催や学生と職員のみでの学校祭も実施する事ができ、徐々にアフターコロナの兆しが見えてきています。そして、今年度から新カリキュラムが始まり、呉、岩国、浜田の3校合同での授業も開始となり、共に学ぶ仲間が増えました。

令和5年度からは定員数が40名となります。これからも、看護の灯を絶やすことなく、人とのつながりを大切に学び続ける学校でありたいと思います。

編集長 竹本 綾美
編集委員 東 活年

